



大阪版「ミンジー」が登場！

第2回広報プロジェクトチームワークショップが、10月11日（水）に大阪府社会福祉会館で実施されました。本市からは広報委員会の安田委員長とオブザーバーとして千田会長が出席しました。

はじめに、事務局より9月26日（火）の第1回PR活動検討委員会で決定された内容が発表され、100周年キャラクターとして右上の東京都民児協連の「ミンジー」を参考に大阪らしい案を業者に依頼中です。

その後、7月14日（金）の第1回ワークショップと同じく9グループに分かれて、①キャラクターグッズを利用した広報活動②平成28年度「見える化プロジェクト」の成果物を利用した広報活動を検討、発表しました。



「ミンジー」

皆が協力して子育てをするペンギンを起用することで、民生委員・児童委員が「地域における支え合いを目指す」「社会全体で子育てを応援する」活動に取り組む姿を表しています。

雨にもまけず・・・！？



秋雨前線の影響で、10月15日（日）に開催予定の市内小学校の運動会が延期になり、多くの学校で18日（水）に開催されました。各地区民生委員・児童委員、主任児童委員が見守りを兼ねながら、児童たちの競技や演技を見学しました。

ただ、台風21号の影響で23日（月）実施予定であった障がい部会の管外研修など多くの行事が中止、延期になりました。

ご存知でしたか？

今年民生委員制度創設100周年を迎えたことを記念して5月12日に日本郵便株式会社から特殊切手「民生委員制度100周年」が発行されています。今回、全国民生委員児童委員連合会が台紙を作成して、特殊押印したものを各市町村民児協に1枚ずつ送付しました。

特殊押印と言えば、多くの民生委員・児童委員は特殊切手発売を知っていると思いますが、期間限定の「郵趣のための押印サービス」があったことはあまり知られていません。台紙の左側の押印は5月12日のみの使用で、右側の押印は12日から18日まで使用できました。



70万人が涙した感動の映画



4組の夫婦が登場し、妊娠・出産だけでなく、流産・死産、不妊、障害、「子供が親を選ぶ」という胎内記憶など『うまれる』ということ幅広く捉える事で、出産だけではなく親子関係やパートナーシップ、そして生きるという事を考える・感じる内容になっています。

要保護児童対策地域協議会研修を兼ねた第2回民児協全体研修会で上映される映画「うまれる」は、メイン・スタッフに男性が多く関わっていて、「妊娠・出産・育児における男性の様子」にも焦点が当てられています。初上映後8年間で70万人が観ている映画です。

日時：11月16日（木）13時～ 場所：キックス4階イベントホール